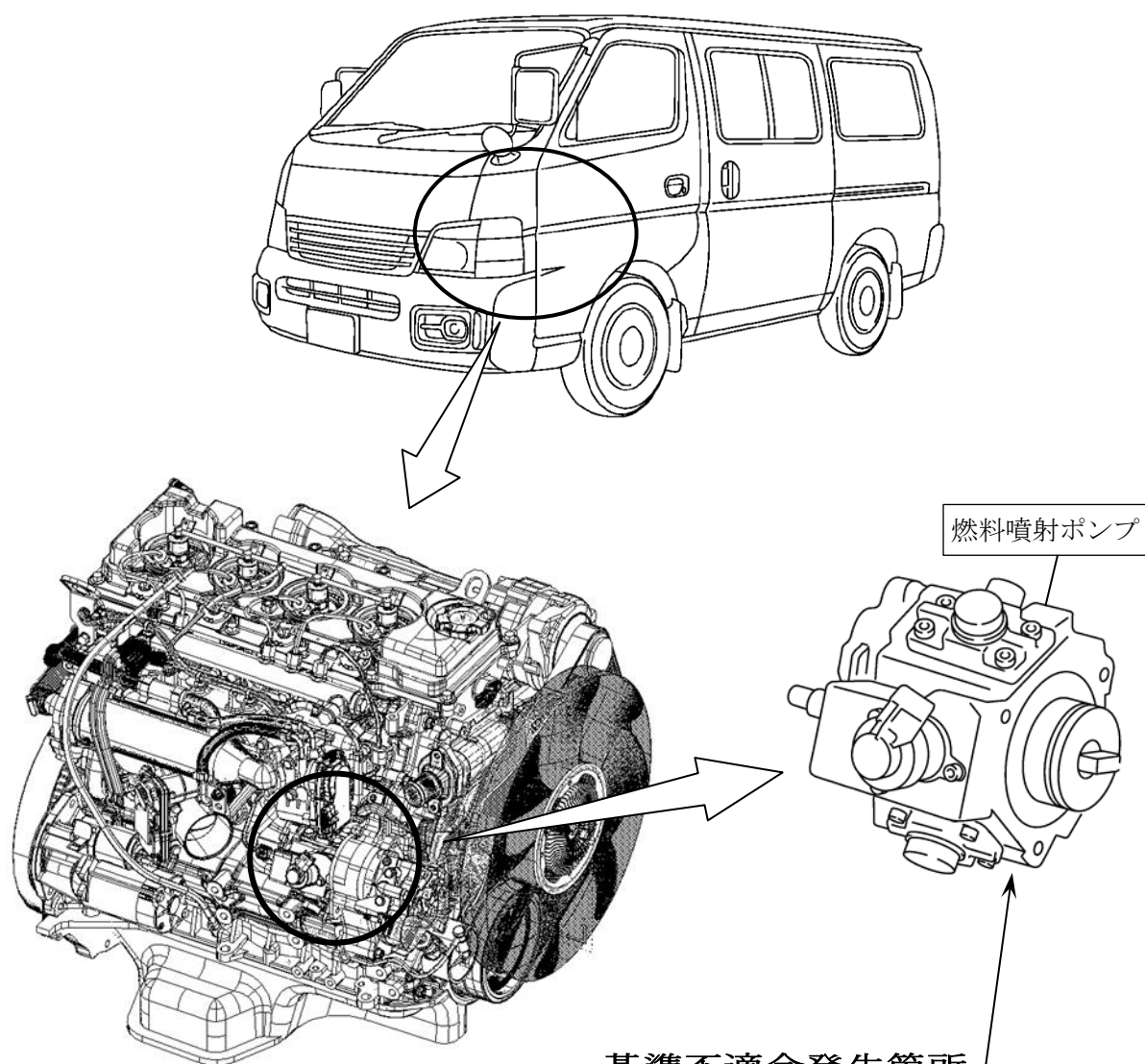


改善箇所説明図①



基準不適合発生箇所

直噴ターボディーゼルエンジンにおいて、燃料噴射ポンプのシールの製造および形状が不適切なため、シールに亀裂が入ることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行して貫通し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。

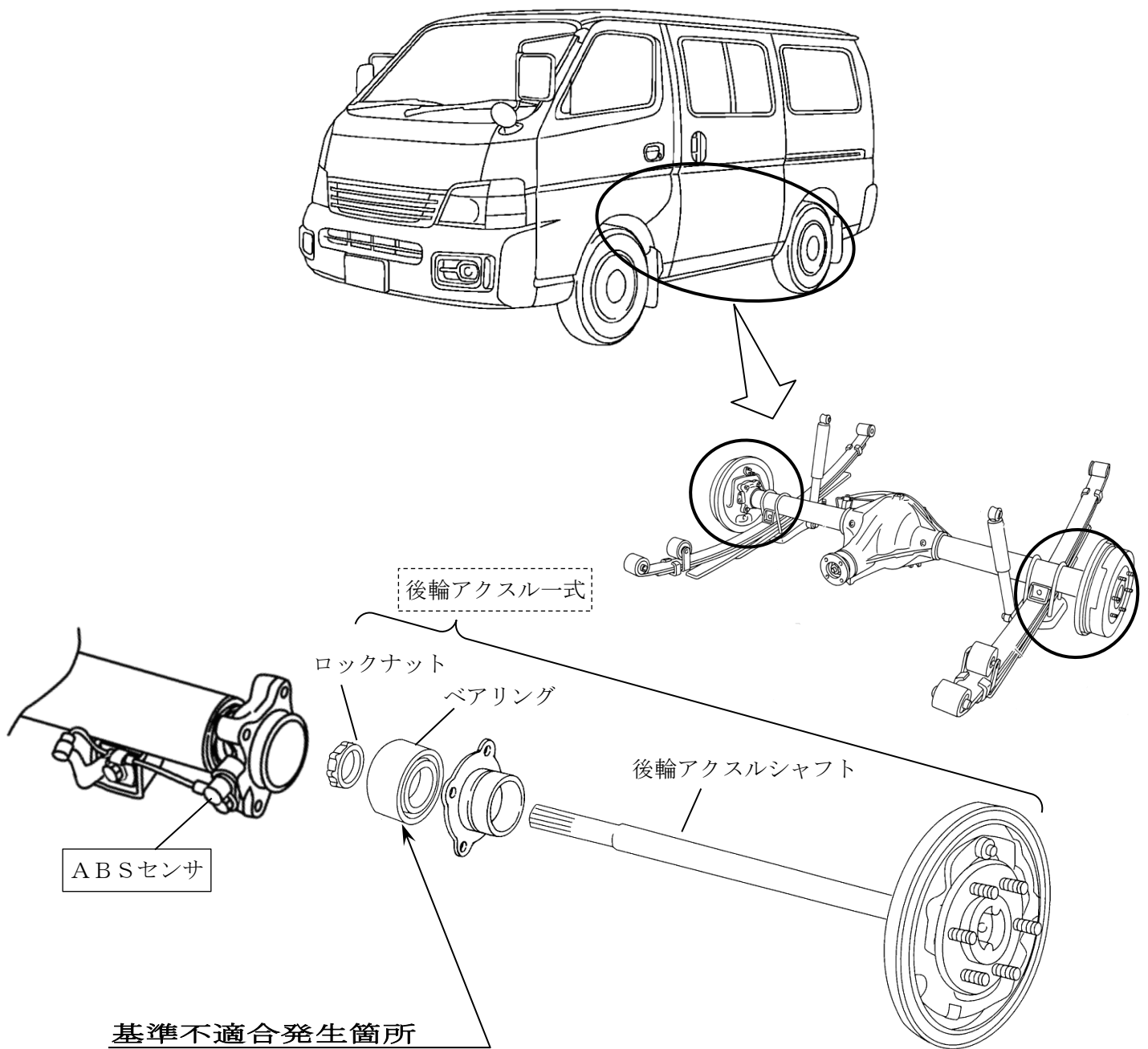
改善の内容

全車両、当該燃料噴射ポンプを対策品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、交換部品を示す。

改善箇所説明図②



基準不適合発生箇所

ABS付き車において、後輪のABSセンサー取付け部の構造が不適切なため、取付け面のシール性が低いものがある。そのため、シール部から浸入した泥水等がベアリング内に到達し、そのままの状態で使用を続けると、ベアリングが潤滑不良となり、最悪の場合、ベアリングが破損し、後輪アクスルシャフトが抜けて走行不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両、ABSセンサー取付け部にシール剤を塗布するとともに、シール部の錆の状況を確認する。その結果、ベアリング内に水が到達した形跡が確認された場合は、当該後輪アクスルー式を新品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、シール剤を追加する部品を示す。

は、点検結果によって交換する部品を示す。